

科目コード 305007a 配当学年 2・3・4
科目名 国際貿易概論
教員名 彭 佳紅

開講時期 前期 曜日 火曜日 時限 4時限

【授業の目的】

経済の専門知識がなくてもわかる、日中貿易の現代史とアジアの経済を学ぶ講義である。世界経済を理解するために、貿易とは何か。なぜ貿易が必要なのか。多くの国際貿易の事例を通して学ぶ。
貿易と国際政治、貿易と多文化共存の関係を理解することが目的である。

【到達目標】

- ① 国際貿易と経済学の基礎知識を身につける。
- ② 日中貿易現代史の流れを説明できるようになる。
- ③ 国際貿易と国際政治の関係を事例を通して解釈できる。
- ④
- ⑤

【授業概要】

日中現代貿易の歴史をひと通り学んだうえ、近年の中国の産業と国際貿易との関係や、アジアハブ港と物流の変動、日本的経営のアジアでの成功例、「華僑」や「和僑」の役割をケーススタディーしながら、一緒に世界の経済と文化について考える。

【授業の進め方・授業手法】

授業は、指定席で、WebClassを活用する。
学習指導とコミュニケーションを促進するため、毎回、講義ノートの提出を求める。

【準備学習】

- ・毎回の授業で取りあげたテーマに対して、学んだ要点を箇条書きにまとめておく、専門用語の意味について調べ、メモしておく、分からない点は、質問できるようにまとめておくこと(毎回1時間)。
- ・授業の課題などについて、WebClassを利用して行うこと。
- ・日頃、各種新聞、雑誌、TV・ネットニュースなどで国際貿易の情報を常にチェックすること。

【授業計画】

- 第1回 ガイダンスー貿易とはー
- 第2回 日中民間貿易の起動期(20世紀50ー60年代)
- 第3回 日中貿易の初期発展期(20世紀70年代)
- 第4回 日中貿易の加速発展期(20世紀80-90年代)
- 第5回 日中貿易の現在と近未来(21世紀ー)
- 第6回 日米主導のアジア開発銀行(ADO)と中国主導のアジアインフラ投資銀行(AIIB)
- 第7回 「一帯一路」が描こうとした世界貿易の未来像
- 第8回 世界のキャッシュレスの傾向とAI技術の利用
- 第9回 世界のエネルギー産業と国際貿易
- 第10回 貿易摩擦とその歴史(グループディスカッション)
- 第11回 インドネシアに貢献する「イオン」の「三原則」
- 第12回 アジアのハブ港と物流大変動ー上海港・金山港ー
- 第13回 「華僑」による国際貿易のリスクマネジメント
- 第14回 「和僑」によるアジアビジネスの連携プレイ
- 第15回 到達度の確認とまとめ

【フィードバックの方法】

- ・毎回受講ノートの提出によって、講義内容への理解度を確認する。
- ・WebClassの機能を利用し、質問や連絡を随時できるようにする。

【テキスト】

テキスト使用せず。パワーポイント、映像使用。プリント配付。
(テキスト ISBN)

【参考文献】

服部健治他『日中関係史1972-2012 II 経済』(東京大学出版会)
胡鞍鋼『2030年 中国はこうなるーGDP、国内格差、環境問題…近未来の姿を詳細予測』(科学出版社東京)

【オフィスアワー】

彭研究室(狭山A403)前に掲示しているオフィスアワーの時間を確認すること。
学習相談などは、いつでもWebClassの機能を利用して送信してください。必ず返答します。

【担当教員からのメッセージ】

正当な理由がなく10分以上の遅刻は、受講マナーで減点対象になるので、ご注意ください。

【履修上の注意】

【実務経験のある教員による授業内容】

【ディプロマ・ポリシーとの関係】

- 《思考・判断・表現》
1. 論理的で明瞭な思考と冷静な判断ができる力を持っていること。(論理的思考力)
 4. ビジネスキャリアや教育キャリアの領域において、問題解決する方法やプロセスを理解していること。
- 《知識・理解》
2. 社会や文化に関心を持ち、多角的視点から現実社会や課題を理解する力を持っていること。(社会理解力)
 5. 国際ビジネス、サービスビジネスに関する専門知識を身につけていること。

評価方法	評価割合(%)	到達目標との対応
平常点(受講マナー、ノートテイキング、グループディスカッション)	60%	①②③
到達度の確認	40%	①②③